



シルバーだより

道 標

第 17 号

令和 3 . 1 . 1

- 理事長
コロナ禍における
シルバー人材センター
年頭のごあいさつ ②
- 大分市長
年頭のごあいさつ ③
- 部長
新年のご挨拶
安全就業に向けて ④
⑤
- 産業医
南天(なんてん)に願いを込めて
会員紹介 ⑥
- 互助会だより
ボランティア活動の開催
健康講座の開催 ⑦
- 掲示板
職員紹介
コロナウイルス感染症防止 ⑧

謹んで新春のお慶びを申し上げます
本年もよろしくお願いいたします

公益社団法人
大分市シルバー人材センター



派遣継続 高橋	派遣継続 志賀	派遣継続 黒江	草刈り 上西	草刈り 清田(明)	草刈り 木村	剪定 清田(憲)	庶務 村山(武)
庶務 池邊	継続派遣 佐藤(孝)	継続派遣 村山(剛)	庶務 堀	福祉家事 佐藤(友)	剪定 熊谷	福祉家事 廣田	児童育成 小今井
庶務 那賀	庶務 園田	事務局次長 田部	理事長 右田	事務局長 齊藤	庶務 佐藤(薫)	庶務 中野	



公益社団法人
大分市シルバー人材センター

理事長 右田 芳明

りました。その後、五月には同宣言は全域で解除され、七月からはGOTOトラベルが始まり、社会経済活動を段階的に再開させる取組が始まりました。

しかしながら、第二波・第三波が到来し、GOTOトラ

ベルも年末からは一時停止となり、これによる経済波及効果は、一か月でマイナス五千億円と試算され、とりわけ観光業への依存度の高い

超高齢社会・人口減少社会を迎え、社会保障関係費の増大や生産年齢人口の減少が大きな課題となっており、まさに、人生百年時代を見据えながら、高齢者の皆さんが生き活きと地域社会に参画する「生涯現役社会」の実現が、強く求められているところでございます。

こうした観点からも、意欲のある高齢者の皆さんが、働くことを通じて生きがいを得るとともに、地域社会の活性化にも貢献するシ

コロナ禍における

シルバー人材センター

地域経済への打撃が懸念されています。

ルバー人材センター事業への期待は、非常に大きなものがあります。

また、昨年、十二月に公表された日銀短観は「企業の景況感の水準は低く、コロナ前を上回る米国や中国に後れをとっている。コロナの感染再拡大が、宿泊・飲食サービスの逆風となり、非製造業の見通しは悪化する。」としています。

しかしながら、令和二年度のシルバー人材センター事業は、これまで新型コロナウイルスの影響を大きく受け、全国的に、会員数・契約金額とも、前年度に比べ大幅に減少しています。

このようなコロナ禍における厳しい経済情勢の中で、我が国は、

今後、新型コロナウイルスの影響を最小限に抑えながら会員数を拡充していくためには、入会説明会の開催

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様方におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

今年は、丑年です。牛は、古くから酪農や農業で人間を助けてくれた大切な動物、その働きぶりから、丑年は、これから発展する年、これから芽が出るような年になるともいわれています。

当センターにとりまして、さらなる飛躍に向かって芽吹く年になることを願っています。

ご案内のとおり、昨年は、新型コロナウイルス感染症が世の中を一変させてしまいました。

我が国におきまして、四月に緊急事態宣言が発出され、外出自粛や施設の使用制限など住民の生活も大きな制約を受けることにな

方法等に工夫を凝らすことはもちろんのこと、より一層、広報や講習会等を充実させ、特に、女性会員の増加を図らなければなりません。

また、会員の平均年齢も、既に七十歳を超えておりますので、七十歳や八十歳になっても無理なく働くことのできる仕事の開拓を行うとともに、会員の安全就業の徹底を図りながら、シルバー人材センターが高齢者の居場所として、支え手として、その役割をしっかりと果たすことが重要と考えています。

結びになりますが、昨年来、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、三密回避、ステイホーム、テレワークなどが求められ、子供が学校に行けず、大人が職場で働けないなど、失って初めて、日常の当たり前だったことが本当にありがたいものと改めて気づかされたところです。

会員の皆様方にとりまして、この一年が、コロナが終息し、そしてまた、日頃の何でもないことに感謝しながら、温かい心の花を咲かせる素晴らしい年となりますことをご祈念申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。

年頭のごあいさつ

大分市長 佐藤 樹一郎



明けましておめでとうございます。

公益社団法人大分市シルバー人材センターの会員の皆様をはじめご関係の皆様方におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、平素から、高齢者の就業機会の創出・拡大に積極的に取り組んでいただいておりますことに、深く敬意を表しますとともに心から感謝申し上げます。わが国では、急速に高齢化が進行しており、加えて人口減少社会が到来する中、社会の活力の維持が喫緊の課題となっております。

本市におきましても、高齢化は進んでおり、令和二年十一月末現在の六十五歳以上の老年人口は一三万八七一人、高齢化率は二七・四％となっており、働く意欲のある高齢者の就業環境の整備は、活力あるまちづくりに不可欠であります。

このような中、貴センターにおかれましては、会員の皆様が、

これまでの人生の中で身につけた知識や技能を活かして、地域に根ざした幅広い事業を展開することにより、高齢者の社会参加と就業機会の確保にご尽力いただいております、その役割は今後さらに重要になるものと考えております。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、経済、教育、ライフスタイルなど、市民生活に大きな影響を及ぼした年となりました。今なお、感染に関わる不安が払拭されてはならず、感染防止と経済活動との両立をさせる取り組みが求められております。

貴センターにおかれましても、新型コロナウイルス感染症の影響により「ふれ愛フェスタ」等のイベントを中止されたと伺っておりますが、六十歳以上の方を対象とした講座の開催や大分いこいの道広場での清掃ボランティア活動などにつきましては、感染防止対策を講じながら、高齢者の社会参加促進や地域コミュニティの活性化に向け

て、取り組んでいただいております。あらためて厚くお礼を申し上げます。

本市といたしましても、新型コロナウイルス感染症に係る対策を講じていくことはもとより、貴センターの取り組みを積極的に支援しながら、誰もが住み慣れた地域で生きがいを持って、健やかでいきいきと暮らしている地域社会の実現に向け、様々な施策を展開してまいりますので、皆様のより一層のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、公益社団法人大分市シルバー人材センターの今後ますますのご発展と、会員の皆様のご健勝、ご多幸をお祈りいたしますとともに、皆様方にとりましてこの一年が健やかで実り多い年であることを祈念いたしまして、新年のご挨拶いたします。





お客様のニーズに
満足にお応えできる
部会運営を目指して



植木剪定部会 会長
佐藤 正信
(田尻A班)

会員並びに職員の皆様、新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、令和三年を健やかに良いお年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、新年早々新型コロナウイルスの感染拡大が始まり、私達の生活習慣は大きく変わらざるを得ない環境となりました。三密(密集・密閉・密接)が叫ばれる中、会議や集会など人との接触が危ぶまれ、お客様との商談や仕事中のマスクの着用がエチケットとし

て常識となり、会員の皆様には多大なご苦労があったことと推測いたします。一日も早い終息を願っているところであります。

こうした状況下で、私達植木剪定部会を取巻く環境も年々厳しさが増してきています。

人手不足や少子高齢化に伴い、各企業や官公庁等は、定年延長或いは高齢者の再雇用等を実施しており、シルバー会員の加入者も減少してきております。社会環境が大きく変る中でシルバー人材センターの変革を果たさなければ会員拡大の進展もできないと思っております。

私は、まず最も重要な課題としてシルバー人材センターが地域社会に貢献し、会員皆様が魅力ある充実した職場として認識できる環境作りが今求められていると考えます。その為には、まず安全で安心して働ける職場である事、更にはお客様のニーズに応え得る接客や技術の向上が必要で、その上は他職場の賃金や諸条件との格差解消が求められています。こうした課題を少しずつでも皆様と共に取組みシルバー人材センターの拡大発展のため努力していく所存

でございますので、ご協力の程宜しくお願いいたします。

尚、今年も無事故、無災害を目指して頑張っていきたいと思います。

最後に会員ご家族様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

草刈り部会会長として



草刈部会 会長
都甲 堅治
(小佐井班)

令和三年あけましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルスの事で大変なことになる、今後もまだまだ続くことと思いますがコロナに負けず頑張ってください。

こんな中今年度草刈り事故について非常に少なく私も喜んでおります。これも皆様方の努力の成果と思っております。本当にありがとうございます。しかし今年度もまだ三ヶ月ありますので絶対に事故を起こさないよう

う努めて頂きたいと思っています。

しかし草刈り作業のみならず交通事故が多々あるようで、十分交通法令を遵守し、朝家を出てから仕事が終わる帰り着くまではその日の仕事ですので、無事帰宅できるように祈っています。

来年度についてもこのまま無事故を続けていけたらなと思っています。

安全をもう一度
自分に問う



福祉・家事援助
サービス部会 会長
橋本 シズコ
(滝尾A班)

新年あけましておめでとうございます。

会員並びに職員の皆様方には、お健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年中は、福祉・家事援助サービス部会に多大なるご協力を頂きありがとうございました。本年も昨年同様にご助言、ご指導の

程宜しくお願い致します。

さて、昨年は会員全員が参加でき事故防止や安全作業の知識を共有できるように作業別区割りを検討しました。最近の事故の多さも心配でした。

まず福祉班、家事援助班、軽度生活支援班と作業班別の講習会を開催しました。講師に博愛施設長林様、日赤大分県支部北島様を迎え、軽度班では経験豊富な班長の方々と実りある話し合いが行われました。その後のフリートークも和気藹々で所要時間をはるかに過ぎるほどで大変実りある講習会でした。

講演では、作業事故を防ぐには、移動時の事故を防ぐには、自分の身を守るためには、他人を思いやる心など、作業別の注意点などが再確認されました。

今年は、「今 誰のために、何のためになにをする？」一秒一呼吸を立ち止まり「安全」をもう一度自分にまわりに心配りを考えて頂きたいと思います。最後に、今年一年が皆様にとって輝かしく素晴らしい年でありますように祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

気持ちほど

言いつこと聞かぬ

身の動き

「令和2年度・大分市シルバー人材センター安全スローガン」



安全委員会 委員長

幸 義広

(田尻C班)

会員並びに職員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、安全就業について格別なるご支援を賜り心より厚くお礼申し上げます。

さて、冒頭の標語は昨年、会員皆様より応募頂いた、安全就業スローガンの中から選ばれた最優秀作品です。

ところで、昨年は十一月末時点で事故発生が三十一件と過去最高を記録しました。事故は、ほんのちょっとした気の緩み等で起こります。昨年転落事故を起こした会員は、反省のなかで「気が急いでいた」と語っていました。多分、時間的な余裕がなく「あせり」があったのではないかと思います。それを聞かれて「私はそんな事故とは関係のない仕事だから」と云われる会員もいらっしゃると思います。しかし、去年は転落事故とは縁遠い仕事をされていて

も、通・退勤時の事故等も増えています。これは所謂、車の事故です。しかし、「私は車に乗らないから」と云われる方もいらっしゃると思います。ところが、横断歩道を通行中の事故も発生しています。更に物を持ち運ぶ時や、立ち上がった時などに、転んだり骨折したりする事故も起こっています。つまり私が訴えたいことは、シルバーの会員にはどのような仕事であれ事故発生のリスクが潜んでいるということです。申すまでもなく事故の未然防止には「安全就業基準」の遵守が不可欠であり会員は就業に際して基準の遵守とあらゆる事故の発生防止に努めなければならないと規定されています。言い換えれば「安全は全てに優先する」ということです。そのようなことから、昨年は総会や草刈部会を始め、班長会議、新入会員研修会などで安全就業について説明をさせて頂きました。今年も一人でも多くの会員に安全就業と事故防止についてお話しさせて頂きたいと考えています。どうぞ宜しくお願い致します。

最後にお願ひがあります。皆様が集まるとき、また会員同士で会話をされる時など、最後に「事故にはお互いに充分気をつけよう。事故を無くそう」と一言付け加えてほしいのです。皆様お一人、お一人の声掛けが極めて重要なのです。

本年も事故ゼロでいきましょう。

安全就業に向けて

昨年は三十三件の事故が発生して過去最高の発生件数となりました。

事故を無くすには一人一人が安全意識を持ち油断しない慎重な就業に努めることが一番です。常に安全第一で就業してください。



安全作業の基本

- 一、急がない・慌てない・無理しない
- 一、保護具の着用 安全帽・手袋等
- 一、防護処置の徹底
- 一、手抜き作業の禁止
- 一、作業前の現場確認

最後まで気を抜かず安全作業に徹してください。

南天(なんてん)に 願いを込めて



医療法人 仁友会
産業医 森内科医院
院長 森 哲

明けましておめでとうございます。
昨年は三月三日に大分でコロナウイルス感染症第一例が報告され、その後大分医療センターでクラスターが発生、四月一日には大分県で外出自粛要請、四月七日には政府が緊急事態宣言を発令しました。その後いったん落ち着いたように思いましたが、第二波、第三波と徐々に波が大きくなり、このままではどうなる事かと大変ご心配されている事かと思えます。お正月に県外に居るご家族が帰省できないというご家庭もあったのではないのでしょうか。それではこれからのコロナウイルスとどう戦っていけば良いのでしょうか。病氣と闘うには、予防、早期診断、治療が必要です。予防については感染予防の三つの基本、身体距離の確保(ソーシャルディスタンス)マスクの着用、

手洗いを心がけましょう。

今年は早々にワクチンが打てるようになると思います。現在、世界中で約三十種類のワクチンが開発中です。

これは私たちがコロナウイルスと闘う上で非常に大きな力となります。

次は早期発見です。行政と医師会が力を合わせて、PCRセンターを開設し、年末までにはコロナウイルス抗原検査が可能な医療機関が数多く出来ました。

最後は治療です。コロナウイルス感染症治療薬として国内で現在使用されている薬としては、レムデシビル、ファビピラビル、イベルメクチン、トシリズマブ、バリシチニブなどがあり、新しい薬もどんどん開発されています。

ところで、昨年はアマビエが流行しました。お正月の花に使われる赤い実の南天にも「難を転ずる」と



いう意味があるとのこと。

今年は難転となり、希望に満ちた素晴らしい一年になると思います。皆様にとりまして、健康で明るい年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。

会員紹介



児童育成クラブ
支援員
渡辺 和郎
(敷戸B班)

早いもので育成クラブも今夏には開所満四年を迎えます。

良き師良き同僚に恵まれ、若干腰の痛さを堪えながらの勤務ですが、どうやらめでたく四年目の夏を迎えられそうに嬉しく思います。

それにしても昨年は新型コロナウイルスの影響で全てに渡り異例づくめでした。長期に渡る臨時休校、児童達の戸惑いは勿論、関わる私たち育成クラブも対応に追われ四五月頃は児童も私達も葛藤の日々でした。そんな児童達も秋季運動会頃にはすっかり元気を取り戻し育成クラブでも応援歌やダンスの華が咲きました、外で遊ぶことも多くなり、時には勢い余っての子ども達に「くそジー！」と言われ齢を忘れ「ムッ！」となるこ

ともありますが、ここはさすが後期高齢者すぐに我に返り仲良く遊んでおります。慣れない仕事ではありますがシルバー人材センター会員として名に恥じぬよう頑張っていく所存でございます。

本年もよろしくお願い致します。



やさしいまなざしは、今日も温かく
子どもたちを見守って。

ハッ!と息をのむ、その一瞬
合気道 7段の技!



互助会だより



互助会 会長
台 博 美
(寒田B班)

あけましておめでとうございます。

皆様方には、健やかなお正月をお迎えのこととお慶び申し上げます。

作年は年明け早々から新型コロナウイルス感染症発生の際があり、クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」の船内感染の報に接し、感染者の対応時点では予測できませんでした。一月に囲碁・将棋大会、二月にボウリング大会を実施しましたが、その後急激な感染拡大により、一、定時総会の変更、二、研修親睦旅行の中止、三、「ふれ愛フェスタ」の中止になり、非常に淋しい一年となりました。

そんな中で、何かできることはないかと、役員で協議した結果、急遽十二月に「そば打ち

体験」の開催を計画したところ、三十名の応募に対して、四十数名の応募があり、対応を検討し、一回の追加開催を決定実施しました。開催にあたっては、コロナ感染防止対策に最大の注意をはらい実施しました。幸い、当センター会員には感染者が無く過ごせたことは、皆様の日頃からの心がけ、行動の自粛によるものと思います。今年も、そば打ち体験を加えて、例年通りの行事を計画・実施したいと思っています。楽しい時間を共有できるように心から願っています。ご家族の皆様が健康で安全な毎日をご過ごせますようお願い申し上げます。

コロナ感染の一日も早い収束を願っています。



「そば打ち体験」

手作りのお味は如何でしたか？

ボランティア活動の開催

昨年十一月十五日に大分駅前「いきいの道」の清掃活動を行いました。

当日は会員・職員併せて百十三名の多くの方に参加いただきました。ゴミ・落ち葉拾い雑草の草取り等に汗を流しました。きれいになったいきいの道広場を多くの方に気持ち良く利用していただけたものと思います。参加された皆さんお疲れさまでした。



清掃活動参加の皆さん



健康講座の開催

健康増進及びセンターのPR、女性会員の拡大を目的に六〇歳以上の大分市民を対象とした「いきいきストレッチ教室」、「食と美容のビューティ講座」を開催しました。定員を超える申し込みがあり、また参加された方の満足度も高く大変好評でした。今後もセンターの認知度を高め、入会へとつながるよう取り組みを進めます。



「いきいきストレッチ教室」



「食と美容のビューティ講座」



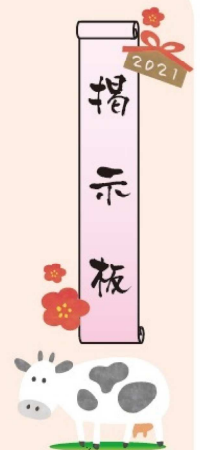
さばてんの花紅色に
咲きほり
新しい年春のははり

池田弘文(荷揚・長浜班)

愛犬と 場所とり合う
こたつかな
初咲き 手折る水仙花
供えけり
吉良麻里子(判田B班)

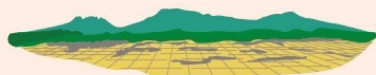


山茶花の 垣根の向こうの
豊後富士
あかぎれの 血筋なのよと
ばやく妻
玄関に 客待つふりの 冬の蠅
生野義晴(川添B班)



皆さんの趣味・特技等を紹介させていただきます。
たくさんのご応募お待ちしております。
次回は七月(十八号)掲載です。

夕月夜 タすげ咲いて
ふるさとや
笹原史刃文(西の台B班)



秋澄むや 阿蘇の穂芒
胸分に
いとし雲 肩をならべて
大観峰

年の瀬や 喜怒哀楽を
数えをり
吾が狭庭 闇夜の使者か
鉦叩き
西水啓剛(東大分B班)



池田弘文(荷揚・長浜班)

- 一、マスクの着用
- 一、まめに手洗い・手指消毒
- 一、咳エチケットの徹底
- 一、こまめな喚起の徹底
- 一、身体的距離の確保
- 一、三密の回避
(密集・密接・密閉)
- 一、適切な生活習慣の理解

基本的な生活様式

コロナウイルス感染症防止



清田 明浩

令和3年1月着任

「自立と笑顔づくり」
のお手伝いをしたいです



志賀 竜洋

令和2年7月着任

「笑顔で対応！」
「責任を持って業務遂
行いたします！」

「どうぞよろしく願っています」

職員紹介

シルバーだより

道標 第17号

●発行／令和3年1月1日

●発行所／

公益社団法人大分市シルバー人材センター
〒870-0026 大分市金池町3丁目2番3号
TEL 097-538-5575
FAX 097-538-5576

ホームページのご案内

<http://oita.o-sjc.com/>

●会報編集委員
齊藤 龍伸・日隈 洋子
那賀 美保・池邊 義幸

編集後記

昨年は、コロナ禍の影響を受け、定時総会は規模を縮小しての開催となり、各部会の活動やボランティア活動、フェスタも中止や延期を余儀なくされました。また、昨年四月から一二月までの総契約金額は、五億七千七十六万円で前年同期に比べて七〇五万円の減となっていますが、全国のセンターが大幅な減となる中、会員皆さんの頑張りにより奮闘している状況にあります。

今年は、新しい芽が出るといわれる丑年です。新型コロナウイルスを封じ込め、希望に満ちた年となりますよう会員皆さんと事務局が力を合わせて、センターの更なる飛躍・発展を目指しましょう。本年もよろしく願い申し上げます。